

学会発表

Okubo, M., Ishikawa, K., Kobayashi, A., & Suzuki, H. (2015).
Lateral posing bias for displaying trustworthiness.
Biennial conference of Asian Association of Social Psychology
and PAP 52nd Annual convention, Waterfront Hotel, Cebu City,
Philippines.

大久保 街亜

8月にフィリピンのセブ島に行く。そう聞けば誰もが休暇をとって出かけるのだと思うに違いない。実際、セブ島は観光立国を目指すフィリピンでも有数のリゾート地である。そのため首都マニラなどと比べれば治安もよい。海もきれいだ。物価も安い（フィリピンの中では高い）。良いことづくしである。ただし、今回のセブ島訪問は当然ながら休暇ではない。フィリピン心理学会とアジア社会心理学会の合同大会に研究成果を発表するためのものだ。

夏休みのセブ島へ飛ぶ飛行機は、さぞリゾート気分満ちたものだと思っていた。家族連れや若い人々に溢れているのではないかと予想した。しかし、いざ機内に乗り込んでみると、予想とはだいぶ違っていた。機内も空いている。家族連れは少ないし、若者もほとんどいない。日本人では会社の慰安旅行のように見える男性グループばかりが目についた。彼らは到着後にゴルフバッグをもっていたので、おそらくゴルフに興ずるのであろう。そのような機内であったから、学会に参加する身としては少々安堵した。

学会会場はビーチ沿いではなくセブ市内にあった。カジノが併設されたホテルで、APECの事務レベル会合も行われた場所だとホテルスタッフが話してくれた。なるほど豪華である。セキュリティも万全であった。なにしろホテルの出入りには、金属探知機を通らねばならないくらい徹底した配慮をしていた。

この徹底したセキュリティ・システムはホテルだけのものではなかった。夕食を食べるためにホテルの外へ出てみると、少し大きな建物には必ず警備のスタッフがいた。拳銃を持っているものだけでなく、ショットガンや自動小銃を首から下げているものもいた。これはホテルの界限が物騒だからではなく、セブ島のだいたいいどこでも似たような感じであった。最大のショッピングセンターSM Cityモールにも、やはりショットガンを首から下げた警備スタッフがいた。それだけ治安が安定していないのだろう。想像に過ぎないが、夏休みのフライトにも関わらず家族連れ

や若者が少なかったことの関連を邪推してしまった。もっとも私自身はなんらトラブルを経験することはなく、現地の人々も総じてとても親切であった。

学会はフィリピン心理学会とアジア社会心理学会の合同大会であったが、参加者は現地の心理学者や心理学関係者（カウンセラーなど）が圧倒的に多かった。フィリピンの心理学者と話したところ、やはり臨床心理学のニーズが高く、参加者も現場で働く実践家が多かった。学会発表も臨床ケース報告が多かった。実験心理学を専攻する私は普段そのような発表に触れることはあまりないので、新鮮な気持ちで発表を聞くことができた。

私自身の発表も、ADHDやトラウマからの回復といった臨床的なトピックの口頭発表セッションに割り当てられた。しかも、最終日の一番最後の時間帯であった。これは誰もいないのではないかと危惧した。そしてその予感的中した。参加者はほとんど帰ってしまうのではないかと危惧した。そしてその予感的中した。参加者はほとんど帰ってしまい、セッションが始まった時には発表者以外誰もいなかったうえ、困ったことにセッションの座長すらいなかった。それどころか会場の撤収作業まで始まった。それは困るとスタッフに抗議をしたら、大変恐縮して撤収作業は一旦中止となった。そして、どう連絡をしたのかよくわからないが、少しずつ会場に聴衆が集まってきた。おそらくスタッフが気をきかせたのであろう。そのスタッフは行方不明だった座長をどうにか見つけ出し、セッションがはじまった。

今回の発表は、これまで検討をしてきた顔の信頼感に関する研究である。臨床的なトピックではないため聴衆がどのように反応するか、未知数なところがあった。しかし、課題が比較的わかりやすいものだったため、多くの聴衆が興味を寄せ、多くの質問を受けた。臨床心理学的な見地からのコメントをもらうなど、非常に有意義なセッションとなった。

発表が終わると、座長から立派な発表証明証を受け取った。臨床系の学会では学会大会への参加が資格維持のためのポイントになるため、このような証明証が配布される。ありがたうけとり、他の参加者がしているように（遅刻してきた）座長と記念写真をとった。良い記念である。



座長との記念撮影